

ガラクシア仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1 液水系アクリルシーラー (水で 50 ~ 100% 希釈して使用)	18kg/缶	約 135 ~ 240 m ² (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1 液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75 ~ 100 m²</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1 液水系珪酸系シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80 ~ 106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> (<u>ジョリパットノフリーズ JPW-100 シリーズ</u>) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> (<u>...数字</u>) 特注色 <u>JP(W)-100</u> (<u>...英字、...数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	A 色 : 約 12 m ² B 色 : 約 31 m ²
骨材	JF-3	寒水石(白竜) 3 厘	20kg/袋入り	約 21 m ²
	JF-5	寒水石(白竜) 5 厘	20kg/袋入り	約 64 m ²

セーフシーラー JS-800 は 2kg × 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安 : 約 20 ~ 25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノフリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・ リシンガン 口径 4 ~ 6 mm
- ・ 双頭ガン 口径 10 mm (大塚刷毛製造(株) 双頭ガン B タイプ)



- ・ コンプレッサー 2.2 kW(3馬力)以上 (1台使用の場合)

双頭ガンの購入は、大塚刷毛製造(株)又は塗料販売店までお問い合わせ下さい。

注 : 口径は標準が 8 mm ですので、別途 10 mm をお求め下さい。

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

< ガラクシア仕上げ施工方法 >

1. シーラー塗布

配 合	JS - 500	18kg
	清 水	9 ~ 18ℓ
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS - 410	15kg
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS - 800	16kg
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下吹き

配 合	JP(W) - 100 シリーズ	20kg
	清 水	2 ~ 3ℓ
塗 布 量	0.9 kg / m ²	
吹 圧 力	5 ~ 7 kg f / cm ² (0.51 ~ 0.71MPa)	
施工道具	リシンガン 口径4 ~ 6mm	
	A色(淡色)で下吹きしてください。	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

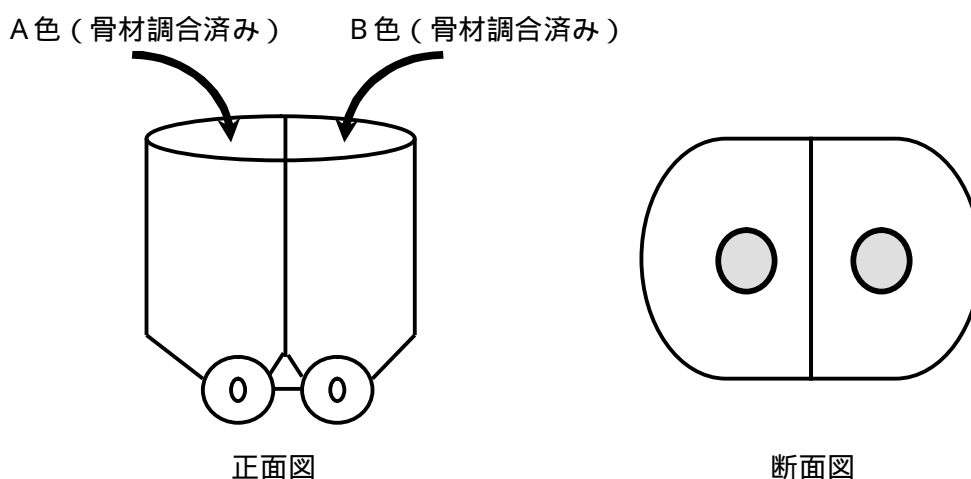
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上吹き

配 合	JP(W) - 100 シリーズ (A、B色)	20kg
	清 水	1.0 ~ 2.0ℓ
	JF - 3	15kg
	JF - 5	5kg
塗 布 量	約2.5 kg / m ² (A、B半分ずつ)	
吹 圧 力	4 ~ 6 kg f / cm ² (0.41 ~ 0.61MPa)	
施工道具	双頭ガン(大塚刷毛製 Bタイプ) 口径 10mm	
	A、B色とも上記の配合で材料を調合し、A、B色を等量ずつ分けて双頭ガンに入れ、2色の粒が均等になるように吹き付けてください。	

< 施工のポイント >

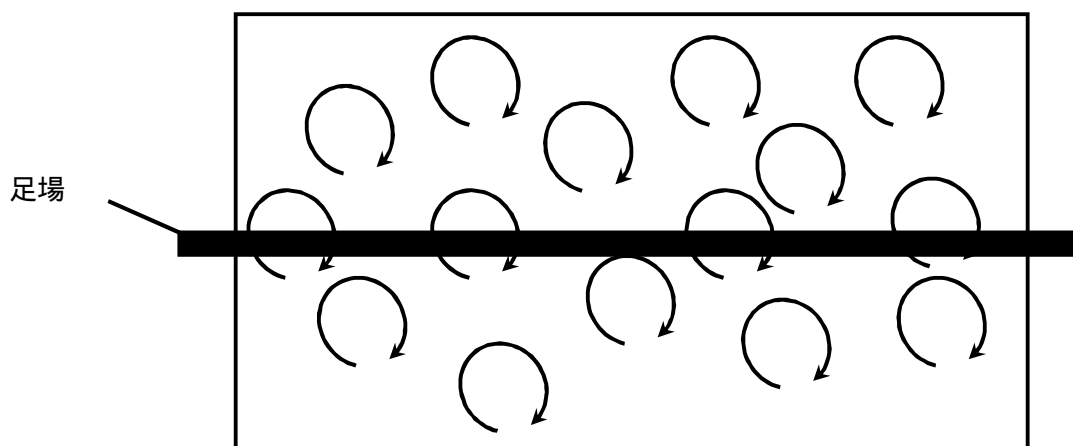
- ・上吹き材料A色、B色について、配合通りに現場で調整してください。水希釈を多くしすぎないように注意してください。水希釈が多すぎると、仕上げがぼけます。(図 - 1)
色によって粘りが異なります。A、B色の粘りが同じくらいになるよう水希釈で調整して下さい。
- ・A、B色は等量ずつガンに投入し、双頭ガンの口金を上からのぞき、A、B色が等量ずつ出ていることを確認してください。
(等量でないと材料が偏って落ち、吹きムラになります。)
- ・双頭ガンにて吹圧を調節し、2色の粒(玉)が均等になるよう、ガンを回しながら吹き付けてください。(図 - 2)



(ガンを上から見た)

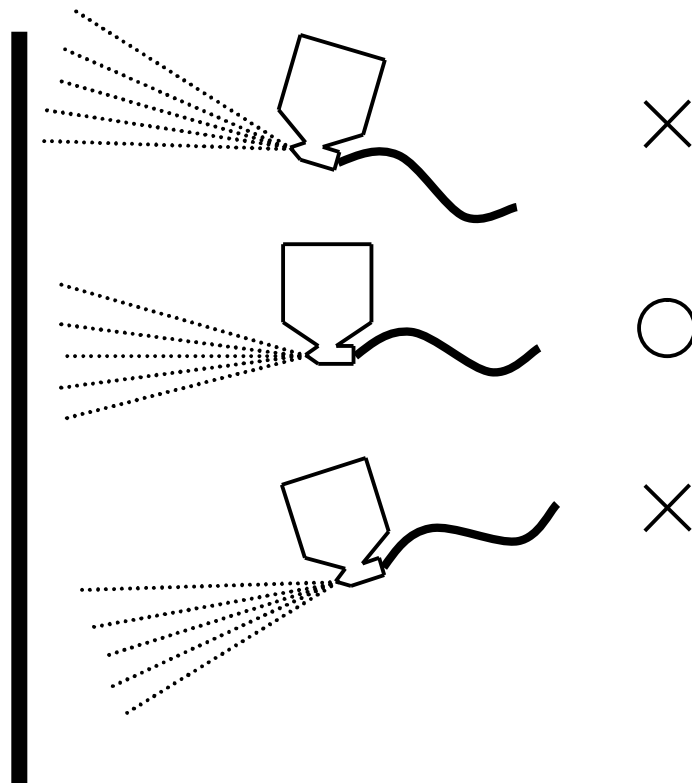
図 - 1

- ・足場部分に粒(玉)がよらないよう注意して吹き付けてください。



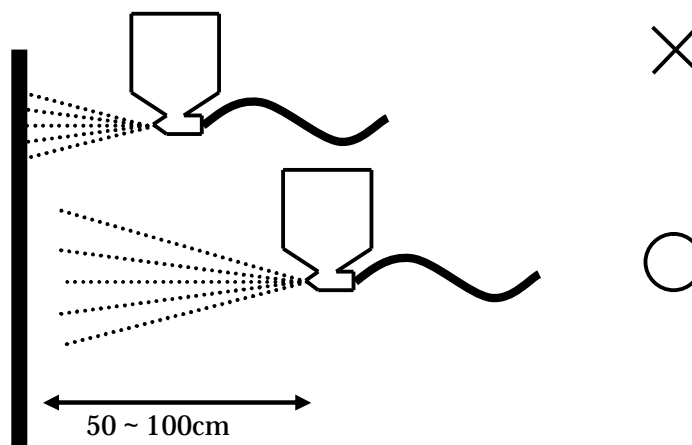
(図 - 2)

- ・ガンは壁面に対しまっすぐ向け、斜め吹きを出来るだけ避けてください。
斜め吹きになると、粒の形や塗布量がバラツキ、ムラになります。どうしても斜め吹きになる場合は吹き圧などで調整してください。

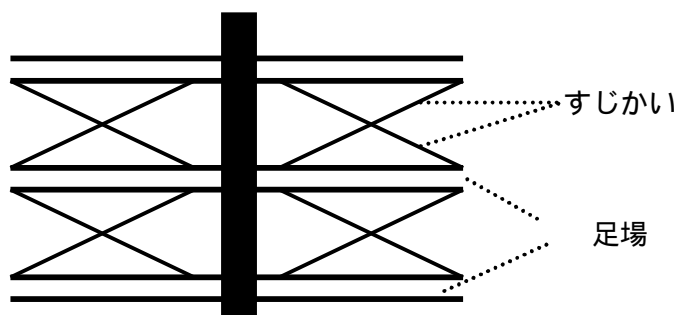


- ・ガンを壁面に近づけすぎないようにしてください。

吹きむらが出やすい



足場のすじかい部分では、吹きムラがやすい為、特に塗布量には注意してください。



- ・斜め吹きする部分が多くなる。
- ・ガンと壁面との距離がとれない。

< 施工の注意事項 >

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・寒水石のかわりに珪砂等を使用しますと、仕上がり時の色が見本板と変わります。珪砂は使用しないで下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用ください。
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮ください。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。

JP(W) 100 - 95 - 01
(JP(W) - 100 ガラクシア)

・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上